

# まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。



## 真夏の海にヒーローが登場

人命を救助した3人が表彰されました



◀表彰を受けた安田有植さん(写真奥中央)と安田永守さん(写真右)。サーフショップを営むかたわら、海上の安全にも気を配っています。

▲緊迫した救助活動現場

福岡海水浴場で溺れた人を救助したとして、市内に住む安田有植さん、安田永守さん親子と、東京都に住む梶原隆芳さんの3人が宗像地区消防本部から表彰されました。安田さん親子は、水上バイクから投げ出されて溺れている人を発見し、梶原さんと3人で協力して救助したそうです。安田さん親子は、海で事故が起こっていないか、日ごろから監視をしています。父の有植さんは、「自分の大切な場所である海で、何かあったらならないと思っています」と海に対する気持ちを語りました。また、「海をあなどってはいいけません」と海水浴やマリンスポーツを楽しむ人に注意を促します。表彰状を手渡した門脇消防長は、「救助は取りかかるとの第一歩が重要です。命を救うきっかけをつくってもらいありがとうございます」と3人の積極的な救助活動に感謝の言葉を送りました。

## 世代を超えた熱い戦い

高齢者と中学生が卓球で親善試合

平均年齢75歳の津屋崎ラージボールクラブと、津屋崎中学校卓球部員が、9月12日に親善試合をしました。同じ卓球室で練習をしている者同士、交流を図れないかと考え始めた親善試合は、今年で4回目になりました。「卓球は子どもから高齢者までいっしょの土俵で楽しめる、貴重なスポーツなんですよ」と



▲鋭いショットを放つ藤河さん

## 輝け！期待の高校生

福岡の空手教室から県の代表選手が誕生



▲得意技の上段裏回し蹴りを披露してくれました

市内に住む高校3年生の中原沙耶さんが、空手道の選手として、福岡県の少年女子の部代表として選出され、「2015紀の国わかやま国体」に出場します。小学3年生から空手を始めた中原さんは、高校3年生となった今年、市・県大会や九州大会、インターハイにも出場し、すばらしい成績を収めました。国体への出場を前に「二つでも多く勝ち上がりたい」と大会への意気込みを語りました。

## 厳しい訓練が実を結ぶ

全国消防救助技術大会で入賞



▲ロープブリッジ救出の部で技術を披露しました

阪神・淡路大震災から20年の節目を迎える神戸市で、第44回全国消防救助技術大会が8月29日に開催されました。全国各地を勝ち抜いた消防職員が集まる中、宗像地区消防本部から九州地区代表として野見山チームが出場しました。大会当日は、日々の訓練の成果を存分に発揮し、安全、確実、迅速に競技を行い、みごとに入賞しました。

## 訓練で流した汗と涙の結晶です

第2回福岡県女性消防操法大会



▲息の合ったチームワークが見られました

市内にある県消防学校に県内から女性消防団員が集まり、女性消防操法大会が9月6日に開催されました。福津市からも女性消防団員が出場し、軽可搬ポンプを使用した消火技術を披露しました。6か月間に及んだ練習の成果を発揮しましたが、惜しくも入賞には至りませんでした。出場した団員は「仲間がいたからこそまで頑張れました」と語りながら、「悔しい気持ちを次につなげたい」と、次回への意気込みも語っていました。

## 地域への感謝の気持ちを込めて

2台の車いすを寄贈



◀来庁の際は自由に利用してください

福津市商工会女性部から、市役所両庁舎に車いすが贈られました。この車いすは、女性部の活動の一環で行われている、お祭りでの出店の収益などを基にされています。前女性部長の沼田恵美子さんは「日ごろお世話になっている地域への感謝の気持ちを込めて贈りました。皆さんに使ってください」と語っていました。